

お子さんにあった環境や関わりを一緒に考えてみませんか？

幼稚園から何も言われなくても、自分の思い通りにならないと怒ることがある。



初めての場所や場面がとても苦手で、何度通っても慣れない。幼稚園に行くのを嫌がって毎日大変。

普段の生活の中で、お子さんの発達や友達との関係等気になる様子はありませんか？発達の特性が表れやすい行動をチェックリストにしています。この機会に一度振り返ってみませんか？

<行動チェックリスト>

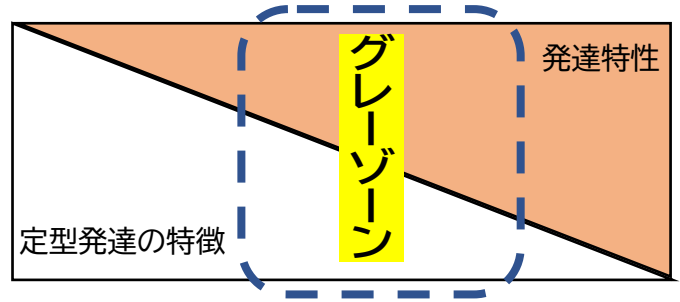
- 一方的に話し、こちらの話を聞かない。
- ことばを話すか、コミュニケーションとして使っていない。
- 同じフレーズを何度も繰り返す。
- 偏食や異食(クレヨンや砂などを食べる)がある。
- 足や手に砂や粘土などがつくのを極端に嫌がる。
- 変わった動作(つまさき歩き、コマの様に回る、体をゆする、手をかざすなど)をよくする。
- こだわりがある(道順、物の位置、マークや数字、特定の動作や手順など)。
- 癖(指しゃぶり、爪噛み)がある。
- 落ち着きがなく、絶えず動き回っている。
- 親から平気で離れ、よく迷子になる。
- 落ち着きが無く、座っていても体を揺らしたり、声をだして絶えず動いている。
- 保育所・園や幼稚園の運動会や生活発表会当日もしくは、その練習日に体調不良を訴える。
- ゲームやYouTubeがやめられない。



軽度の発達特性(※)をもつ「グレーゾーン」をご存じですか？

グレーゾーンとは、軽度の発達特性を持つことをいいます。発達特性は連続性があり、症状がいくつかあてはまっても診断基準を満たさず、診断されないことが多くあります。

※自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症の一部を持つこと



心配なことは？

一見問題無さそうに過ごしていても、発達特性により「困り感[※]」を持っていたり、入園、入学、進級等のストレスにより身体症状(朝起きられない、腹痛、頭痛)、登校園しぶり、不登校が生じるリスクを抱えています。

また、困りごとが出てから相談・受診をしても発達特性による二次的な症状や行動だと分からず、医療機関を転々としたり、適切な対応が出来ないリスクも抱えています。

※「困り感」は学研の登録商標です。



どのように対応するのが良いですか？

学校に馴染めず悩んでいる方もいれば、理解ある環境下でお子さんにむいている習い事をし、自分らしくのびのびと生活を送っている方もいます。特定の分野に強みを持ち医師やシステムエンジニア、研究職などの専門職で活躍している方も多くいます。

周囲の家族や所属先の大人がお子さんの特性(マイペースさや言葉のやりとりが苦手等)を理解し、かかわり方や環境を工夫することで、お子さんの様子は変わってきます。お子さん自身が自分を肯定的に受け止め、自分は自分で良いという気持ちが育つような関わりを一緒に考えてみませんか。

子ども総合相談

0～18歳までの子どもと家族から、子どもの発達、学校生活のこと等、様々な相談に応じます。お話を伺い、一緒に考え、必要な情報や支援につなぎます。必要に応じて、医師や心理職等の専門相談も行います。

5歳児発達相談 予約制

家庭や所属先での生活で気になることや心配なことを相談し、安心して就学を迎えていただくことを目的とした相談です。市内在住の4～5歳のお子さんに対して、個別通知します。

宝塚市たからっ子総合相談センター あかね 子ども総合相談課
 場所 宝塚市役所第二庁舎 1階
 相談員 保健師、社会福祉士、教育職、心理職、医師等
 日時 月～金曜日 9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)
 電話 0797-80-8171